

# 高いシェア足がかり

中国・四国の企業は国内での高いシェアを足がかりに、海外進出にも力が入る。補助工業は中国、四国化工機は東欧や中東でも攻勢をかける。また小松電機産業が得意の機器制御技術を生かして環境関連分野に進出したように、周辺分野への参入で一層の業容拡大と経営安定を目指している。

## 小松電機産業 シート式シャッター

小松電機産業(松江市、島根県のベンチャー企業、小松昭夫社長)は「シー

ト式シャッター」という

市場をゼロから作り上げたバイオニア企業だ。鉄

製シャッターしかなかった工場、倉庫の出入り口

用に高速で開閉する塩化

ビニール製シャッター「門番」を独自開

発して全国に販路を広げ、

感知し、塩ビ製シャッターが自動的に開閉する。

創業は一九七三年。水車から降りずにすみ、開閉速度も鉄製の約二十倍

「ピーク時のシェアは七〇%に達した」(小

松社長)という。

## 防虫タイプを拡販

最近

は防虫タイプの拡販を強化している。食品

衛生管理(HACCP)が浸透し、食品加工施設

などからの引き合いが増えているためだ。

防虫タイプの「オート

ロン門番」は特殊シート

を使い、ガなどの昆虫が

好む波長の光を大幅にカ

を浮かべて

おいて、水質を測定する時だけ空

気圧を使っ

てセンサー部分に水を取

り込む仕組み。測定時間

外はセンサーが水に触れないため、藻などが付着

しにくい。

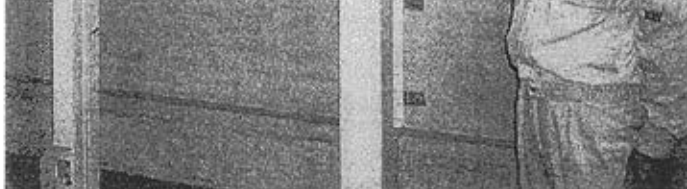
現在は調査水域に固定

型の観測塔を設置する方式が主流だが、建設費が

かさむうえ、センサーの

付着物を数週間おきに取り除く手間がかかる。新

システムだとメンテナンスが年一〜二回で済み、



最近食品業界からの引き合いが増えている(小松電機産業のシート式シャッター「門番」)

「運用コストは十分の一以下になる」(同)。同社は安道湖・中海で二年間にわたる実証試験を終え、実用化にメドを付けた。

最近防虫タイプの拡販を強化している。食品衛生管理(HACCP)が浸透し、食品加工施設などからの引き合いが増えているためだ。防虫タイプの「オートロン門番」は特殊シートを使い、ガなどの昆虫が好む波長の光を大幅にカットする。出入り口などに取り付けると、虫が屋内照明に誘引されて飛来する率が低くなる。今年度は防虫タイプの拡販をテコに、シリーズ全体で前年度比約一〇%増の六千三百台の売り上げを目指す。

新規分野として湖沼の水質管理装置にも力を入れる。今春、低コストで運用できる水質測定システムを松江工業高専などと共同開発した。水面にセンサーを搭載したパイ